

お店屋さんごっこ

●保育のねらい

- ・様々な素材に触れて、作る楽しさを味わう。
- ・生活の中で経験したことを真似しながら、友だちとやり取りをする。

作成日：2018年7月4日 対象児：1歳児
作成者：齊藤佳那



●保育の振り返り

・綿や透明のコップ、ストローを用意すると、カップに綿を詰めてジュースを作ったり食べ物を持って来たりしてお店屋さんごっこをして遊びました。ジュースを「おいし～」と飲んだり、机に食べものを並べたり、食べたりと、お店での様子を真似をする姿が見られました(社会生活との関わり)。また、「いらっしやいませ～」「えっと～、アイスとジュース下さい！」「どうぞ」「ありがとう」と店員さんやお客さんになりきり、保育者や友達と言葉のやりとりを楽しんでいました(協同性・言葉による伝え合い)。こうしたごっこ遊びを通して、社会生活のルールやそのなかでの振る舞いを学んでいきます。